



ほっと
いっぷく

平泉寺こぼれ話 ～第35話～ 平泉寺からの出土品です。 これはどこで焼かれたもの？

ヒント

- ①. 液体などを入れる壺の破片です。
- ②. 室町時代のもと考えられます。
- ③. 表面はザラザラで、細かい白色粒が見られます。
- ④. 焼かれた場所は日本六古窯の一つに数えられます。

答えは最下段↓

越前禅定道探訪記 その18 六万山～相撲の馬場跡

六万山

市ノ瀬から白山の山頂に向かう越前禅定道は、平成 11 年に復活している。市ノ瀬から六万山へは、現在、尾根の左側から登るルートになっているが、古くは六万山の頂上（標高 1,260 m）へ向かって直登するルートがとられていたようである。『続白山紀行』には、六万山の付け根にあった一之宿（大工小屋ともいう）から、険しき坂（顔見坂）を登り、途中、「大鳥居」や「金くさり」という鎖場を通り、「町石」のある場所を経て「相撲の馬場」に至ったとある。

相撲の馬場跡

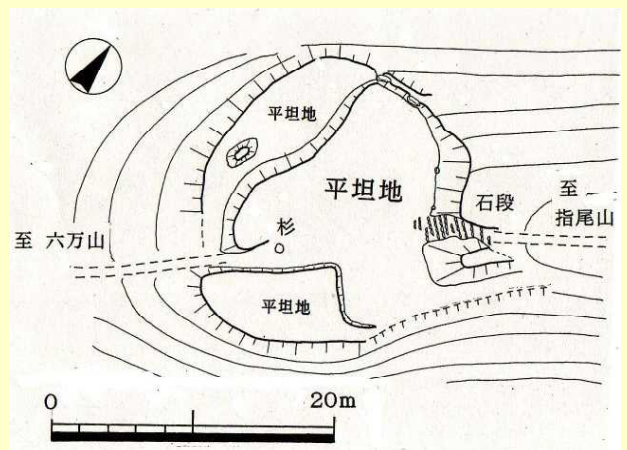
六万山の山頂から尾根伝いに白山の方向にしばらく歩くと、人工的に平坦にした場所に出る。『白山全上り』によると、「相撲の馬場」といって参詣の人に相撲をとらせた場所であるという。また、登り坂の最後にあるため「仕舞いの馬場」とも言うところである。

相撲の馬場と思われる平坦地は右図に示したように、径 20 m 程の円形の広場となる。

平坦地は、東側の尾根を切り崩して、西側に盛土することによってつくられている。このため、尾根道への取り付きは 13 段の石段がつけられている（写真中）。ここからしばらく登ると檜宿に至る。



相撲の馬場跡奥の石段



相撲の馬場跡平面図

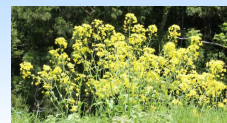
こぼれ話の答え：信楽焼 滋賀県甲賀市信楽町で焼かれたものと考えられます。

(4)

国史跡平泉寺の整備情報誌

平泉寺かわら版

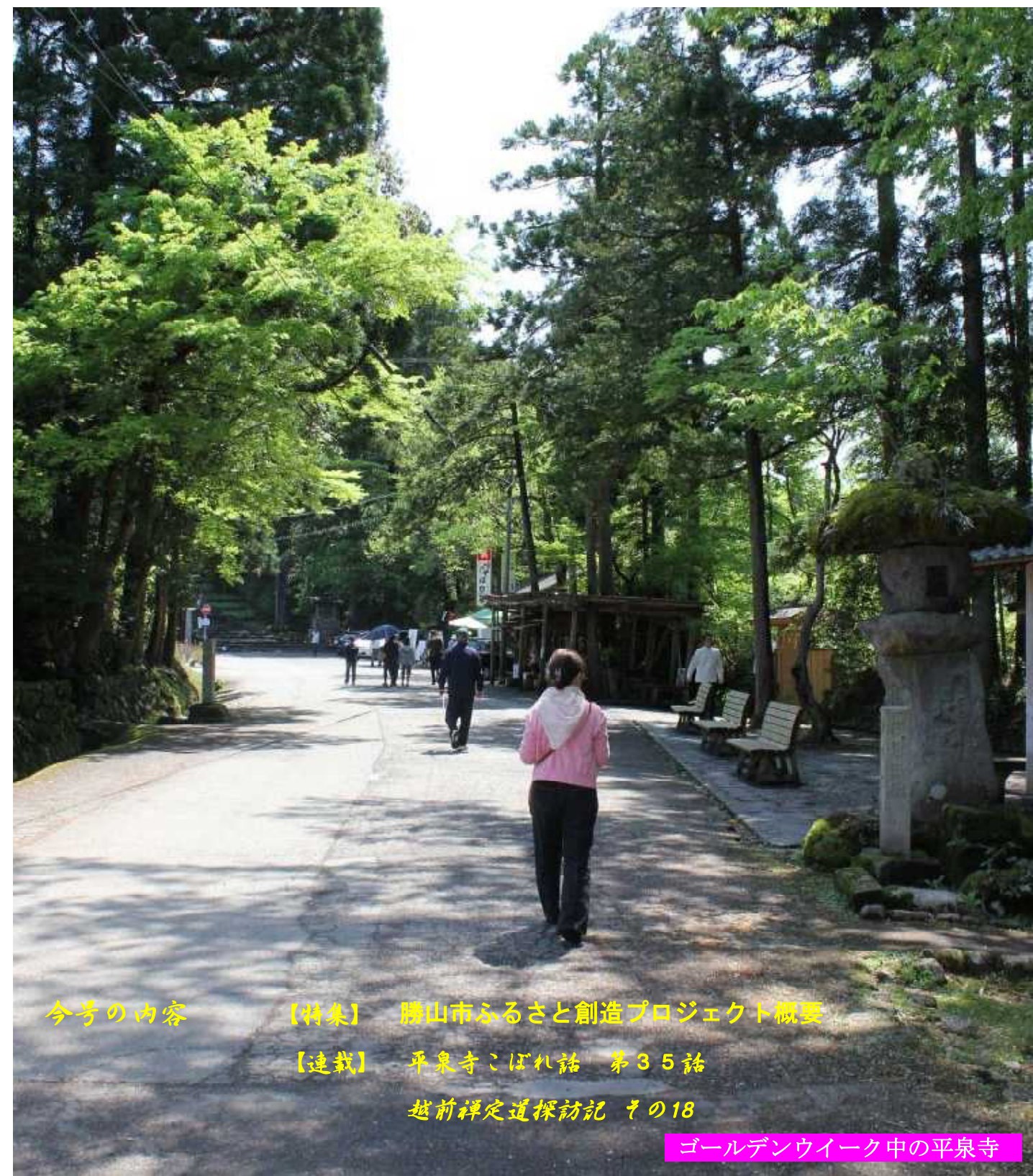
No. 44 (2012年5月号)



← 平泉寺で
見つけた草花 →



【発行】 勝山市教育委員会 史蹟整備課
【発行日】 平成24年5月24日
【ご意見・ご要望は下記まで】
電 話： 0779-88-8113(直通)
メー ル： shiseki@city.katsuyama.lg.jp



今号の内容

【特集】 勝山市ふるさと創造プロジェクト概要

【連載】 平泉寺こぼれ話 第35話

越前禅定道探訪記 その18

ゴールデンウィーク中の平泉寺

勝山市ふるさと創造プロジェクト概要

福井県が補助・今年度から3か年計画・まずは計画づくり

平泉寺の総合案内施設「白山平泉寺歴史探遊館まほろば」が今年10月6日（土）にオープンします。その周辺整備については、福井県の補助事業である「勝山市ふるさと創造プロジェクト事業」を活用し、3か年計画で進める予定です。

今回の事業では、「まほろば」から精進坂までの整備が中心で、道路の高質化や、隣接する土地に建つ古い土蔵などを利用し、観光案内や平泉寺の魅力を発信する交流拠点として整備するものです。これらの事業により、平泉寺門前の景観をより良くするとともに、来訪者の利便性も向上させていく計画です。



事業内容

この事業は、福井県が県内の市・町のオンリーワン、ナンバーワンのふるさとづくり事業を支援するもので、勝山市では下記の内容で事業を進める計画です。

- 事業は平成24～26年度までの3か年計画です。
- 事業は①詳細計画策定事業、②～⑤ハード事業、⑥ソフト事業に分けられます。
- 詳細計画は、地元の方や若者・学生の方が参画し、9月末までに策定します。
- ハード事業は2ページに示したように、歴史的な土蔵等を活用する計画です。
- ソフト事業は、平泉寺の魅力を全国に発信する計画です。

具体的内容

① 詳細計画策定事業

地元の方や若者・学生の方が参画する委員会を立ち上げ、詳細計画を今年9月末までに策定するものです。あわせて、整備予定地の測量や地下遺構の有無を確認する試掘調査も行います。

② 精進坂前誘客拠点整備事業（ハード事業）

精進坂前の民有地を整備するなかで、伝統的な土蔵を改修し、観光案内施設として再整備を図る計画です。また、便益施設を新設する予定です。

③ 精進坂前参道（大門）景観整備事業（ハード事業）

精進坂前の参道の舗装を高質化する予定です。あわせて、より良い景観形成を図るため周辺の整備も検討します。

④ 東尋坊跡交流拠点整備事業（ハード事業）

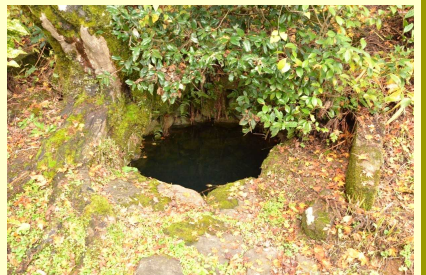
東尋坊跡の一部を交流スペースとして整備するものです。あわせて、東尋坊跡井戸への散策路も整備する予定です。

⑤ 白山平泉寺歴史探遊館北側多目的広場整備事業（ハード事業）

まほろばの北側の林地を多目的広場として整備する計画です。

⑥ 平泉寺PR事業（ソフト事業）

具体的な内容は、①の詳細計画策定委員会の中で検討しますが、斬新なアイデアで平泉寺の魅力を全国発信したいと考えています。また、総合案内パンフレットや平泉寺図録等も作成する予定です。



東尋坊跡の井戸



発掘速報

市道9-18号線道路修繕工事

石垣の裏から古い石垣発見

現在進めている平泉寺区の市道9-18号線道路修繕工事（南大門付近）において、昭和20年頃に積まれた水路護岸の石垣を外したところ、奥から中世のものと考えられる古い石垣が見つかりました。見つかった石垣は、長さが約5m、高さ約1mで、石の積み方から中世のものと考えられます。今回の工事では、この石垣を保存して作業を進めることになりました。



石垣の裏から見つかった古い石垣

